R4.3.24 第2回総合教育会議

学校教育改革プランの進化系「未来の教育もりやビジョン2022」

Future of Education Moriya Vision 2022

子供が学びやすく、保護者が学ばせやすく、先生が子供に関わりやすい。

新しいもりやの教育はつながりの教育

もりやの教育がめざしているのは、みんなが幸せになるために自己実現できる学校づくりです。

わくわく子育て王国 もりや

Open-Hearted Moriya Kids,
Open-Minded Moriya Families.

１ プランからビジョンへ

学校教育改革プラン(H31～R3)

第１次プラン【H31～】	第２次プラン【Ｒ２～】	第３次プラン【Ｒ３～】
守谷型カリキュラム・マネジメント	小学校教科担任制による授業充実	GIGAスクール・スマートもりや
市・学校いじめ対策本部の設置	タブレット・フューチャープラン	もりやハートウォーミングプラン
プログラミング教育の先取り	スクールスタッフの増員	もりやニューノーマルプラン
中央図書館との連携による学校図書館の充実	チャレンジ検定プラン	
守谷型カリキュラム・マネジメントが**文科省・県教委からモデル事例として評価。**	市独自の専科教員を配置して**国の施策を先取り。学びの充実と働き方改革**の両面で大きな成果。	コロナ禍の課題を克服し**「コロナ時代の新しい日常・ニューノーマル」を見通したプラン。**

モデル事例としての守谷型カリ･マネ

R02.1.16萩生田大臣の視察

結果概要（調査項目３ 取組の好事例）

5

～事例の提供が多かった取組③～

日課表の見直し② ～下校時刻を早めて執務時間を確保～

小学校高学年・中学校において、６時間授業は週２日まで（茨城県守谷市）

【守谷型カリキュラム・マネジメント】

- 市内統一のカリキュラム編成の工夫として、小中学校において、夏季休業の５日間の短縮（8/26授業開始）、始業式・終業式後の授業実施、創立記念日・県民の日の授業日への変更により、13日間（70コマ分）を生み出し、**６時間授業は週２日までに限定（週３日は５時間授業）**。
- 放課後の時間を生み出したことにより、教員の早期退勤が進み、**時間外勤務月４５時間以下を達成した学校も出ている。**

プラン未実施		プラン実施	
	授業		授業
１学期始業式	なし	前期始業式	有①
〃 終業式	なし	→授業日	有②
２学期始業式	なし	→授業日	有③
通常の授業日	有	前期終業式	有④
〃	有	後期始業式	有⑤
〃 終業式	なし	→授業日	有⑥
３学期始業式	なし	→授業日	有⑦
卒業式	なし	→午後授業	有⑧
年度末修了式	なし	年度末修了式	なし

【１日５時間授業で教職員の勤務スタイルが変わる】

- 小学校では、授業準備や研修に充てられる放課後の時間が、１週間で135分（2時間15分）増える。
- 中学校では、部活動の終了時刻が早まることにより、放課後の時間が１週間で180分（3時間）増える。

【「働き方改革」と「学習効果の最大化」「安全・安心の確保」を目指す】

- 児童側からも、小学生の体力を考慮して、毎日６時間授業による負担の回避やゆとりある教育課程を編成して学びの質を保証
- 児童
も寄

【守谷市教育委員会　学校教育改革プランより】 46

R01.12月 文科省調査好事例

R02.1.31文科省フォーラム発表

学校教育改革プラン(H31～R3)

第１次プラン【H31～】	第２次プラン【Ｒ２～】	第３次プラン【Ｒ３～】
守谷型カリキュラム・マネジメント	小学校教科担任制による授業充実	GIGAスクール・スマートもりや
市・学校いじめ対策本部の設置	タブレット・フューチャープラン	もりやハートウォーミングプラン
プログラミング教育の先取り	スクールスタッフの増員	もりやニューノーマルプラン
中央図書館との連携による学校図書館の充実	チャレンジ検定プラン	
守谷型カリキュラム・マネジメントが**文科省・県教委からモデル事例として評価。**	市独自の専科教員を配置して**国の施策を先取り。学びの充実と働き方改革**の両面で大きな成果。	コロナ禍の課題を克服し**「コロナ時代の新しい日常・ニューノーマル」を見通したプラン。**

国の施策を先取りして成果を収める

令和４年２月１２日（土）

報道特集

学校教育改革プラン(H31～R3)

第１次プラン【H31～】	第２次プラン【	第３次プラン【R３～】
守谷型カリキュラム・マネジメント	小学校教科担任制による授業充実	GIGAスクール・スマートもりや
市・学校いじめ対策本部の設置	タブレット・フューチャープラン	もりやハートウォーミングプラン
プログラミング教育の先取り	スクールスタッフの増員	もりやニューノーマルプラン
中央図書館との連携による学校図書館の充実	チャレンジ検定プラン	
守谷型カリキュラム・マネジメントが**文科省・県教委からモデル事例として評価。**	市独自の専科教員を配置して**国の施策を先取り。学びの充実と働き方改革**の両面で大きな成果。	コロナ禍の課題を克服し**「コロナ時代の新しい日常・ニューノーマル」**を**見通したプラン。**

感染症というピンチをチャンスに

学校教育改革プランの進化系「未来の教育もりやビジョン2022」

Future of Education Moriya Vision 2022

きらめき守谷 副都心

子供が学びやすく、保護者が学ばせやすく、先生が子供に関わりやすい。

新しいもりやの教育はつながりの教育

もりやの教育がめざしているのは、みんなが幸せになるために自己実現できる学校づくりです。

わくわく子育て王国もりや

Open-Hearted Moriya Kids,
Open-Minded Moriya Families.

各施策がつながって、もりやの教育が進化します。

Plan #1

学び方改革
「子供のために」
Learning innovation

持続可能な社会の創り手になる子供を育てます。

■ 一人1台端末を学力向上に生かしていく「守谷型ラーニングスタイル」
- 学びを変える4つの授業スタイル（①探究 ②協働 ③定着 ④振り返り）

■ 世界とつながる「守谷型グローバル教育」
- ALTの対面授業とオンライン英会話を組み合わせたハイブリッド型授業
- オンライン交流（海外の学校と国際交流）

■ 学びの記録をデジタルで蓄積する「守谷型e-ポートフォリオ」
- 日常の学習記録を蓄積する「デジタルノート（Meta Moji Classroom）」
- Google Workspaceを活用した児童生徒の作品管理「マイ・ミュージアム」

■ 家庭における個別最適化の学びを実現する守谷型家庭学習
- デジタル教材によるAI支援の自主学習

Plan #2

働き方改革
「子供と向き合うために」
Teacher innovation

ゆとりをもって、子供に向き合う時間を増やします。

■ 主体的・対話的で深い学びを実現する「教材バンク」
- 優れた授業例を全小中学校でデータ化し共有

■ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境
- 「マイ・ミュージアム」を活用した掲示物の精選
- タブレット端末を活用した一人一人の学習状況の確認

■ ニューノーマルの考えを守谷の新しい教育に
- Web会議システムを活用した教育活動の推進
- 各感染対策を講じたWithコロナの対応

Plan #3

もりや心の教育
「ハートウォーミングプラン2」
Heartwarming plan 2

心豊かで思いやりあふれる子供を育てます。

■ 児童生徒の一人一人の心に寄り添うチーム学校
- 児童生徒の自己肯定感を大切にする教職員の連携体制構築

■ 校内に温かな居場所をつくる「校内フリースペース」（中学校）
- フリースペース支援員を配置し、不登校生徒支援
- オンラインによる授業参加

■ 児童生徒の安心安全を確保するための「いじめ・不登校ゼロパック」の継続
- 一人1台端末を有効に活用するための情報モラル教育
- いじめをなくすためのいじめ防止授業・家守師

Plan #4

学校生活改革
「みんなのために」
School innovation

子供の安全安心を確保して新しい生活様式を確立します。

■ 守谷型カリ・マネを生かした段階的な部活動改革
- 水・金5時間授業による効率的な練習時間の確保
- 部活動指導員の計画的な運用

■ 学校と家庭をつなぐポータルサイトの更なる活用
- 欠席・遅刻連絡，検温チェックカードのデジタル化
- Google Workspaceを活用したデジタル連絡帳

■ 地域人材を活用したキャリア教育
- 地域人材ボランティアバンクの設立

２ つながるビジョンで
あたらしい教育を

学校教育改革プランの進化系「未来の教育もりやビジョン2022」

Future of Education Moriya Vision 2022

■ 一人1台端末を学力向上に生かしていく「守谷型ラーニングスタイル」

・学びを変える4つの授業スタイル（①探究　②協働　③定着　④振り返り）

もりやの教育がめざしているのは、みんなが幸せになるために自己実現できる学校づくりです。

Open-Minded Moriya Families.

Plan #1
学び方改革
「子供のために」
Learning innovation

持続可能な社会の創り手になる子供を育てます。

■ 一人1台端末を学力向上に生かしていく「守谷型ラーニングスタイル」
・学びを変える4つの授業スタイル（①探究　②協働　③定着　④振り返り）

■ 世界とつながる「守谷型グローバル教育」
・ALTの対面授業とオンライン英会話を組み合わせたハイブリッド型授業
・オンライン交流（海外の学校と国際交流）

■ 学びの記録をデジタルで蓄積する「守谷型e-ポートフォリオ」
・日々の学習記録を蓄積する「デジタルノート（Meta Moji Classroom）」
・Google Workspaceを活用した児童生徒の作品管理「マイ・ミュージアム」

■ 家庭における個別最適化の学びを実
・デジタル教材によるAI支援の自主学習

■ 児童生徒の一人一人の心に寄り添う
・児童生徒の自己肯定感を大切にする教職員

■ 校内に温かな居場所をつくる「校内フ
・フリースペース支援員を配置し、不登校生徒支援
・オンラインによる授業参加

■ 児童生徒の安心安全を確保するための「いじめ・不登校ゼロパック」の継続
・一人1台端末を有効に活用するための情報モラル教育
・いじめをなくすためのいじめ防止授業・家守話

Plan #3
もりや心の教育
「ハートウォーミングプラン2」
Heartwarming plan 2

心豊かで思いやりあふれる子供を育てます。

各施策がつながって、…が進化します。

Plan #2
働き方改革
「子供と向き合うために」
Teacher innovation

ゆとりをもって、子供に向き合う時間を増やします。

■ 主体的・対話的で深い学びを実現する「教材バンク」
・優れた授業例を全小中学校でデータ化し共有

■ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境
・「マイ・ミュージアム」を活用した掲示物の精選
・タブレット端末を活用した一人一人の学習状況の確認

■ ニューノーマルの考えを守谷の新しい教育に
・Web会議システムを活用した教育活動の推進
・感染症対策を講じたWithコロナの対応

■ 主体的・対話的で深い学びを実現する「教材バンク」

・優れた授業例を全小中学校でデータ化し共有

■ 地域人材を活用したキャリア教育
・地域人材ボランティアバンクの設立

Plan #4
学校生活改革
「みんなのために」
School innovation

子供の安全安心を確保して新しい生活様式を確立します。

1人1台端末を学力向上に生かしていく「守谷型ラーニングスタイル」～学びを変える４つの活用スタイル（①探究　②協働　③振り返り　④定着）

①探究

「やってみたい！解決したい！」という問いをもつことで、探究心が促進され、学びが教室の外に広がります。

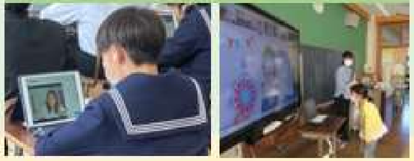
課題解決のための効果的な情報収集

配布された課題を、家庭で考えてくることで、導入時間を短縮

家庭での学びを教室へ

②協働

教室外の専門家とのつながりを実現



対面でもオンラインでも、一人１台端末の効果的な活用によって、子どもたちのつながりを生み出します。

教室でしかできない、教室だからできる学びのために
守谷市は１人１台端末の効果的な持ち出しを実現します

実験結果を記録し、深い考察へ

活発な意見交流を促進

考えを共有した創造的な学び

様々な形態による表現活動の充実

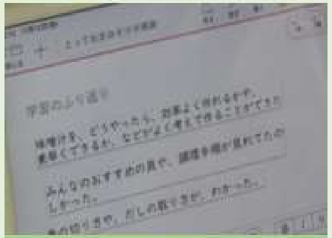
画面の向こう側にいる仲間との協働的な学び

③振り返り

端末を持ち帰ることで、教室での学びをじっくり振り返ることができ、次の日の教室での学びにつながります。

単元を通して学んだことをもとにした意見文の作成

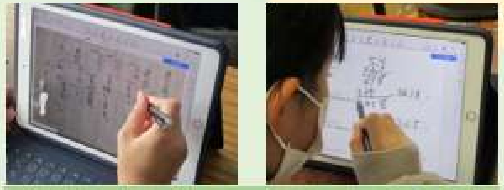
学びの姿を可視化



授業の終末に与えられた視点を生かした振り返り

④定着

教室と家庭の学習をつなげることにより、教室での学びを支える基礎学力「読み・書き・算」の定着を図ります。



学習支援ソフトの活用による個別最適な学びの実現

録音機能を活用した音読

学校教育改革プランの進化系「未来の教育もりやビジョン2022」

■ 学びの記録をデジタルで蓄積する「守谷型 e-ポートフォリオ」

- 日頃の学習記録を蓄積する「デジタルノート(Meta Moji Classroom)」
- Google Workspace を活用した児童生徒の作品管理「マイ・ミュージアム」

もりやの教育がめざしているのは、みんなが幸せになるために自己実現できる学校づくりです。

Open-Hearted Moriya Kids,
Open-Minded Moriya Families.

各施策がつながって、もりや…ます。

Plan #1
学び方改革
「子供のために」
Learning innovation

持続可能な社会の創り手になる子供を育てます。

- ■ 一人1台端末を学力向上に生かしていく「守谷型ラーニング」
  - 学びを変える4つの授業スタイル(①探究 ②協働 ③定着 ④振り返り)
- ■ 世界とつながる「守谷型グローバル教育」
  - ALTの対面授業とオンライン会話を組み合わせたハイブリッド型授業
  - オンライン交流(海外の学校と国際交流)
- ■ 学びの記録をデジタルで蓄積する「守谷型 e-ポートフォリオ」
  - 日頃の学習記録を蓄積する「デジタルノート(Meta Moji Classroom)」
  - Google Workspace を活用した児童生徒の作品管理「マイ・ミュージアム」
- ■ 家庭における個別最適化の学びを実現する守谷型家庭学習
  - デジタル教材によるAI支援の自主学習
- ■ 児童生徒の一人一人の心に寄り添うチーム学校
  - 児童生徒の自己肯定感を大切にする教職員の連携体制
- ■ 校内に温かな居場所をつくる「校内フリースクール」
  - フリースペース支援員を配置し、不登校生徒支援
  - オンラインによる授業参加
- ■ 児童生徒の安心安全を確保するための「いじめ防止」
  - 一人1台端末を有効に活用するための情報モラル教育
  - いじめをなくすためのいじめ防止授業・家庭

Plan #2
働き方改革
「子供と向き合うために」
Teacher innovation

ゆとりをもって、子供に向き合う時間を増やします。

- ■ 主体的・対話的で深い学びを実現する「教材バンク」
  - 優れた授業例を全小中学校でデータ化し共有
- ■ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境
  - 「マイ・ミュージアム」を活用した掲示物の精選
  - タブレット端末を活用した一人一人の学習状況の確認
- ■ ニューノーマルの考えを守谷の新しい教育に
  - Web 会議システムを活用した教育活動の推進
  - 各感染対策を講じた With コロナの対応
- ■ 守谷型カリキュラムを生かした段階的な部活動改革
  - 水・金 5 時間授業による効率的な練習時間の確保

■ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境

- 「マイ・ミュージアム」を活用した掲示物の精選
- タブレット端末を活用した一人一人の学習状況の確認

Plan #3
もりや心の教育
「ハートウォーミングプラン2」
Heartwarming plan 2

心豊かで思いやりあふれる子供を育てます。

Plan #4
学校生活改革
「みんなのために」
School innovation

子供の安全安心を確保して新しい生活様式を確立します。

さらなる学びのスマート化と働き方改革へ

連絡帳廃止の
余剰時間で
「スタディタイム」

図工や書写の作品を
クラウドに保管して
「マイ･ミュージアム」

掲示が目的化していた
教室壁面がスッキリ!!

児童生徒のために
先生のために
Change!
Challenge!

３ ビジョンの重点
ーカリマネを生かした
部活動改革ー

学校教育改革プランの進化系「未来の教育もりやビジョン2022」

Future of Education Moriya Vision 2022

子供が学びやすく、保護者が学ばせやすく、先生が子供に関わりやすい。

新しいもりやの教育はつながりの教育

もりやの教育がめざしているのは、みんなが幸せになるために自己実現できる学校づくりです。

わくわく子育て王国もりや

Open-Hearted Moriya Kids,
Open-Minded Moriya Families.

Plan # 1

学び方改革

「子供のために」

Learning innovation

持続可能な社会の創り手になる子供を育てます。

- ■ 一人1台端末を学力向上に生かしていく「守谷型ラーニングスタイル」
  - ・学びを変える4つの授業スタイル（①探究 ②協働 ③定着 ④振り返り）
- ■ 世界とつながる「守谷型グローバル教育」
  - ・ALTの対面授業とオンライン英会話を組み合わせたハイブリ
  - ・オンライン交流（海外の学校と国際交流）
- ■ 学びの記録をデジタルで蓄積する「守谷型 e-ポ
  - ・日頃の学習記録を蓄積する「デジタルノート（Meta Moji C
  - ・Google Workspace を活用した児童生徒の作品管理「マイ・ミュー
- ■ 家庭における個別最適化の学びを実現する守谷型家庭学習
  - ・デジタル教材によるAI支援の自主学習
- ■ 児童生徒の一人一人の心に寄り添うチーム学校
  - ・児童生徒の自己肯定感を大切にする教職員の連携体制構築
- ■ 校内に温かな居場所をつくる「校内フリースペース」（中学校）
  - ・フリースペース支援員を配置し、不登校生徒支援
  - ・オンラインによる授業参加
- ■ 児童生徒の安心安全を確保するための「いじめ・不登校ゼロパック」の継続
  - ・一人1台端末を有効に活用するための情報モラル教育
  - ・いじめをなくすためのいじめ防止授業・家守詩

心豊かで思いやりあふれる子供を育てます。

Plan # 3

もりや心の教育

「ハートウォーミングプラン2」

Heartwarming plan 2

各施策がつながって、もりやの教育が進化します。

Plan # 2

働き方改革

「子供と向き合うために」

Teacher innovation

ゆとりをもって、子供に向き合う時間を増やします。

- ■ 主体的・対話的で深い学びを実現する「教材バンク」
  - ・優れた授業例を全小中学校でデータ化し共有
- ■ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境
  - ・「マイ・ミュージアム」を活用した掲示物の精選
  - ・タブレット端末を活用した一人一人の学習状況の確認
- ■ ニューノーマルの考えを守谷の新しい教育に
  - ・Web 会議システムを活用した教育活動の推進
  - ・各感染対策を講じた With コロナの対応
- ■ 守谷型カリ・マネを生かした段階的な部活動改革
  - ・水・金５時間授業による効率的な練習時間の確保
  - ・部活動指導員の計画的な運用
- ■ 学校と家庭をつなぐポータルサイトの更なる活用
  - ・欠席・遅刻連絡，検温チェックカードのデジタル化
  - ・Google Worlspace を活用したデジタル連絡帳
- ■ 地域人材を活用したキャリア教育
  - ・地域人材ボランティアバンクの設立

子供の安全安心を確保して新しい生活様式を確立します。

Plan # 4

学校生活改革

「みんなのために」

School innovation

	月	火	水	木	金
	アーリーデー		アーリーデー		アーリーデー
	朝　の　会				
1					
2					
3					
4					
給　食					
昼　休　み					
5 部活開始 15:00					
6 部活開始 [illegible]0	100分	50分	100分	部活なし 16:00下校	100分
黄色は 部活動等	部活終了後　16:50　下　校				

～部活動の時間について（目安）～

○ 月・水・金曜日　15:00～16:40
50分×２（100分）

○ 火曜日　15:50～16:40　50分

○ 木曜日　部活なし

○ 休　日　3時間程度（土日はいずれか1日）

	月	火	水	木	金
	アーリーデー		アーリーデー		アーリーデー
	朝　の　会				
1					
2					
3					
4					
給　食					
昼　休　み					
6	①		④		⑥
部活開始 15:50	② 100分	③ 50分	⑤ 100分	部活なし 16:00下校	⑦ 100分
放課後 黄色は 部活動等	部活終了後　16:50　下　校				

～部活動の時間について（目安）～

○ 月・水・金曜日　15:00～16:40
50分×2（100分）

○ 火曜日　15:50～16:40　50分

○ 木曜日　部活なし

○ 休　日　3時間程度（土日はいずれか1日）

		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
シーズン		スタンダード		サマーチャレンジ		オータムチャレンジ		オフ			スタンダード	
下校時刻	ビジョン前5校時	1715→						1700→			1715→	
	ビジョン前6校時	1815→				A 1800 B 1745	C 1730 D 1715	1700→			1730	1800
	ビジョン	1650→		1710→				1650→				
	期待される効果	○ビジョン実施前のどの時期よりも下校時刻が早い。 ○季節による下校時刻の変動が極めて少ない。										
活動時間	ビジョン前	8時間→				A7時間30分 B7時間	C6時間30分 D6時間	5時間→			6時間30分	7時間30分
	ビジョン	5時間50分		8時間				5時間			5時間50分	
	期待される効果	○3シーズン制により活動時間にメリハリがある。 ○「チャレンジシーズン」の活動時間はビジョン実施前より増え、一方で下校時刻が早い。										
部活後の時間	ビジョン	3時間		1時間40分		A1時間10分 B 40分	A 10分 B-20分	1時間			1時間30分	2時間30分
	期待される効果	○ビジョン実施前に比べて最大で週3時間のゆとりの時間を創出できる。 ○週4日6時間授業で18:15まで部活動を行っている市町村と比較すると、週5時間のゆとりの時間を創出できる。										

※表の「活動時間」「部活後の時間」は、平日5日間の時間

（例）部活後の時間：4・5月の3時間の根拠

・月　　「部活なし　　1510下校」から「100分活動し1650下校」→－100分
・火　　「120分活動し1815下校」から「 50分活動し1650下校」→＋ 85分
・水・金「120分活動し1715下校」から「100分活動し1650下校」→＋ 25分×2日
・木　　「120分活動し1815下校」から「部活なし　　1550下校」→＋145分　　　合計 180分＝3時間／週

「意識を変える」とは －教育長の哲学－

―プランでは、来年度から変えていく。

例えば、小学校高学年は6時間目まで授業をして、その後帰りの会をして、下校指導をして、そして職員室に戻る。そうすると4時20分くらいまでかかる。勤務時間は4時40分までだから、20分しかない。どう考えたって変えられない。5時間目の日を設ければ、午後3時には子どもたちが帰る。そうすると4時40分まで先生たちの時間がつくれる。そういう時間の枠を作った上で、先生たちの働き方について話をするのが大事だと強く思った。どこの教委もそれぞれの方針を出すことが本来の姿なのかもしれない。

（平成31年3月8日 時事通信社「内外教育」「教育長はこう考える」から）

５年後を見据えて
【未来の教育もりやビジョン】

５年後を見据える「未来の教育もりやビジョン」

「学校教育改革プラン」から「未来の教育もりやビジョン」へ　さらなる守谷型の学校教育改革を

R3.10.15

H31・R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8

H31・R元
第１次プラン【H31～】
- 守谷型カリキュラム・マネジメント
- 市・学校 いじめ対策本部の設置
- プログラミング教育の先取り
- 中央図書館との連携による学校図書館の充実

守谷型カリキュラム・マネジメントが文科省・県教委からモデル事例として評価。

R2
第２次プラン【Ｒ２～】
- 小学校教科担任制による授業充実
- タブレット・フューチャープラン
- スクールスタッフの増員
- チャレンジ検定プラン

市独自の専科教員を配置して国の施策を先取り。学びの充実と働き方改革の両面で大きな成果。

R3
守谷の教育日本一宣言
【R3.4.1 教職員辞令交付式】

守谷の教育を日本一にしたいと思っています。
そのために学校の体制をしっかり整えてください。

第３次プラン【Ｒ３～】
- GIGAスクール・スマートもりや
- もりや ハートウォーミングプラン
- もりや ニューノーマルプラン

コロナ禍の課題を克服し「コロナ時代の新しい日常・ニューノーマル」を見通したプラン。

守谷型オンライン授業
- ●感染対策と学びの保障
- ●ハイブリッド授業
- ●個別の教育的ニーズへの対応

R4
GIGAスクール・スマートもりや 2nd
- ●一人１台のタブレットを最大限に生かした授業改善と学力向上
  - ・「守谷型ラーニングスタイル４つの視点」による授業づくり（①振り返り ②探求 ③反転 ④補習）
  - ・空間と時間を超えた児童生徒との学び合いや専門家との交流
  - ・一斉ドリルから学習アプリへの移行による苦手克服・得意伸長
- ●企業等との連携による先進的実証研究や実践
  - ・DMMと連携した英語学習（全学年）
- ●「もりやプログラミングチャレンジ」（仮称）
  - ・プログラミング大会の開催
- ●「もりやクリエイティブスクール」
  - ・オンライン・スタジオ
  - ・学校行事のライブ配信

守谷型カリキュラム・マネジメント 2nd
- ●学びの質を向上させる週４日以上の５時間授業
  - ・夏季ハイブリッド授業
- ●児童生徒の帰宅時刻の遅れの回避による安全・安心の確保
  - ・冬季の安全確保
- ●教職員の働き方改革による教材研究の充実・児童生徒と向き合う時間の確保
  - ・部活終了時刻の前倒し

もりや ハートウォーミングプラン 2nd
- ●「校内フリースペース」の設置
  - ・４つのフリー（①時間・時刻 ②場所 ③内容 ④対応）で不登校児童生徒に柔軟に対応
  - ・オンラインの積極活用
- ●「いじめ・不登校ゼロパック」の自校化と事例の蓄積

スクールスタッフの増員 2nd
- ●フリースペース指導員配置

チャレンジ検定プラン 2nd
- ●プログラミングコンクール応募への助成

R5
GIGAスクール・スマートもりや 3rd
- ●企業等との連携による先進的実証研究や実践
  - ・守谷型STEAM教育（理数教育と創造性教育）の開始
- ●一人１台のタブレットを最大限に生かした「守谷型ラーニングスタイル」の確立

もりや ハートウォーミングプラン 3rd
- ●タブレットによる教育相談
- ●「いじめ予測分析システム」の導入
  - ・AIによるデータ分析を活用し、いじめの深刻化を判断

※滋賀県大津市と日立システムズが開発

日本一の取組
●**「学習アプリの充実」日本一**
- ・オンラインデジタル教材「eライブラリー」、学びのデジタル化「メタモジ」
- ・プロ講師による映像授業「スタディサプリ」

●**「特認校で特色ある教育」日本一**
- ・特色ある教育を希望する児童を特認校で受け入れ
- ・STEAM（理数教育と創造性教育）による「創る学び」
- ・スポーツ幼稚園「バディ」との連携

●**「オンラインによる学校・家庭間連携」日本一**
- ・連絡帳・手紙のペーパーレス化、オンライン健康チェック・教育相談
- ・オンライン授業参観、動画配信

●**「英語学習の個別化」日本一**
- ・教育課程特例校、ALTの全校・複数配置、英検助成
- ・いつでもネイティブと学べるDMM英会話

教育課程特例校 実施状況
DMM英会話

実感・実態の伴う「働き方改革」
- ●GIGAスクール構想のなかで
- ●カリマネ・教育環境の最大活用

●**「学校の働き方改革」日本一**
- ・守谷型カリキュラム・マネジメント
- ・守谷市雇用の小学校教科専科教員

「未来の教育もりやビジョン」推進委員会
教育長・参事・指導課長・指導課副参事
校長会（小池・秋山・越智・荒井・鈴木邦）

「未来の教育もりやビジョン」PJチーム
- GIGAスクールビジョン：荒井校長・嶋田
  教頭（　　）・教務（　　）・教諭（　　）
- 英語グローバルビジョン：高野校長・秋田
  教頭（　　）・教務（　　）・教諭（　　）
- ハートウォーミングビジョン：板谷校長・黒井
  教頭（　　）・教務（　　）・教諭（　　）

新しい学校教育のモデルを実現

「学校教育改革プラン」による基礎固め

「未来の教育もりやビジョン」でさらなる守谷型の学校教育改革を推進